

2014年10月2日
日本学生自転車競

技連盟

強化普及委員長 三宅

秀一郎

2014日韓対抗選手権大会参加選手の選考

2014日韓対抗に以下の選手を選考する。

男子5名	奥村 諭志 (鹿屋体育大学)	2014 インカレ	ケイリン	1位
	原田 裕成 (鹿屋体育大学)	2014 インカレ	4 km IP	1位
	野上 竜太 (鹿屋体育大学)	2014 インカレ	1 km TT	1位
	堀 航輝 (鹿屋体育大学)	2014 インカレ	1 km TT	3位
	小林 泰正 (日本体育大学)	2014 インカレ	ポイントレース	2位
女子2名	丸田 京 (法政大学)	2014 インカレ	スプリント1位・500mTT1位	
	齋藤 望 (日本体育大学)	2014 インカレ	スプリント3位・500mTT2位	

1 選考の概要

①代表選手選考の指針 (抜粋)

原則として、実施種目の当年インカレ優勝者とする。辞退者あった場合に備え、選考委員会はインカレ2位以降・当年学連ランキング・主要大会の実績に基づき、優先順位付ノミネート・リストを作成する。

②実施種目

男子：スプリント・ケイリン・1 km TT・4kmIP・ポイントレース・T P

女子：スプリント・500m TT・2km IP・スクラッチ・T S P

③人数

男子：5名

女子：高校生と併せて5名 (例年大学生から3名)

2 実施種目優勝者の辞退と選考

① 2014 インカレ スプリント 1位の宮本隼輔 (中央大学) は辞退、同種目2位の野上選手は既に1 km TTにおいて1位で選考済である。

1 km TT 2位の相馬選手は辞退。

従ってスプリント3位または1 km 3位から選考する事が順当である。

TPとポイントにも出場する必要がある事を勘案し、1 km TT 3位の堀選手を選考する。

② 2014 インカレ ポイントレース 1位の橋本英也 (鹿屋体育大学) は辞退した。

同種目2位の小林選手 (日本体育大学) を選考する。

③ 2014 インカレ 個人追抜 1位の原田は日程が重なるワールドカップ遠征に参加する可能性があり、その場合には個人追抜2位以下の選手から選考する。

④ 2014 インカレ 3 km IP・ポイントレース 両種目1位の中村妃智 (日本体育大学) は辞退。

また、スプリントと500mTTは丸田京 (法政大学) が両種目とも1位である。

従って参加意志表示がなかったポイントレース2位の合田祐美子 (早稲田大学) を除き、3 km IP 2位の江藤里佳子 (鹿屋体育大学)・スプリント2位の清水知美 (八戸学院大学)・500mTT 2位の齋藤望 (日本体育大学) が候補となる。

選考の概要の通り女子の実施種目はスプリント・500mTT・2kmIP (3kmでは無い)・TSP・スクラッチであり、男子よりスピードが要求される種目が多い。本年に限っては、高体連から選考された女子選手が500mと2 km IP 双方に於いて優秀な記録を持つことから、高体連と協議の結果、学連の大学生選手枠を1名減の2名、高体連の選手枠を1名増の3名とすることとし、IPへは高校生の出場を優先する。

大学生からはスクラッチでの成績を期待して、ロード3位の評価も加え500mTT 2位

(スプリント3位)の齋藤選手(日本体育大学)を選考する。

以 上